

## 健康社会研究センター ニューズレター 第 43 号

2017. 1. 16 発行

### ◆ 目次 ◆

- 1 最新のお知らせ
- 2 主な研究成果発表
- 3 シンポジウム・講演・メディア掲載・放送等
- 4 自治体共同研究会等
- 5 研究費獲得のお知らせ
- 6 研究会のお知らせ

健康社会研究センターは JAGES(日本老年学的評価研究)の事務局の 1 つとして、下記のような活動に取り組んできました。

### 1.最新のお知らせ

#### JAGES 研究会が開催されました

- 2016 年 12 月 18 日、東京大学本郷キャンパスで 12 月の定例研究会が行われ、約 50 名が参加しました
- 2016 年 11 月 20 日、東京大学本郷キャンパスで 11 月の定例研究会が行われ、約 43 名が参加しました
- 2016 年 10 月 15 日、日本福祉大学名古屋キャンパスで 10 月の定例研究会が行われ、約 25 名が参加しました
- 2016 年 9 月 25 日、東京工業大学 キャンパスイノベーションセンターで 9 月の定例研究会が行われ、約 38 名が参加しました
- 2016 年 8 月 9 日、大阪大学医学部共同研究棟7階セミナー室 吹田キャンパスで日英国際比較研究のためのワークショップ-ELSA&JAGES が行われ、約 42 名が参加しました
- 2016 年 7 月 10 日、東京大学 本郷キャンパス で 7 月の定例研究会が行われ、約 66 名が参加しました

#### 「日常生活圏域ニーズ調査に関する説明会」が開催されました

「日常生活圏域ニーズ調査に関する説明会」を開催しました

東京：2016 年 10 月 11 日(火) 13:00 ～15:30 国立社会保障・人口問題研究所 第 4・5 会議室

大阪：2016 年 10 月 13 日(木) 9:30 ～12:00 公益社団法人国民會館 小ホール (国民會館住友生命ビル 12 階)

#### 日本リハビリテーション医学会 最優秀論文賞を受賞しました (2016.6.9 受賞式)

徳永誠, 近藤克則: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicines 誌掲載 【Jpn J Rehabil Med 2015;52:751-759】大腿骨頸部骨折(近位部骨折)患者の訓練単位数と退院時運動FIMとの関係  
「-日本リハビリテーション・データベースの分析-」

#### プレスリリースが発行されました

各プレスリリースは、JAGESのホームページ、プレスリリース:[https://www.jages.net/about\\_jages/puress/](https://www.jages.net/about_jages/puress/)でご覧ください

1) No.094-16-24

歯が少ないほど 3 年後に自立した日常生活が困難になる(佐藤遊洋, 相田潤)

2) No.093-16-23

子ども期の社会経済状況低い場合にうつ症状新規発生 1.3 倍(谷友香子)

3) No.092-16-22

地域診断にもとづく高齢者の通いの場づくり

～JAGES 地域診断支援ツールを活用した長崎県松浦市の成功例～(山谷麻由美)

4) No.091-16-21

子ども医療費助成制度を導入すると受診率が約2割増加

～ただし、どの層の受診が増加したかは現在の日本のデータでは不明～(長嶺由衣子)

- 5) No.090-16-20  
東日本大震災 住宅損失で認知症進行(引地博之)
  - 6) No.089-16-19  
地域の治安 心臓病リスクと関連(男性高齢者)(井上陽介)
  - 7) No.088-16-18  
介護予防対策の優先地域がわかるツールを開発  
～地域リスクを 5 段階評価しスコア化～(近藤尚己)
  - 8) No.087-16-17  
幼いころ虐待を受けた高齢者は歯を失うリスクが 14%高い(松山祐輔)
  - 9) No.086-16-16  
健康に関連する地域の社会関係資本の測定指標の開発  
～社会参加や連帯感、互助が豊かな地域に暮らす高齢者は健康度が高い～(齊藤雅茂)
  - 10) No.085-16-15  
「友人の種類」が多い高齢者は、歯が多い  
～友人の種類が1つ増えると、歯が多い可能性が 1.08 倍～(相田潤)
  - 11) No.084-16-14  
「要介護度維持改善率」はケアの質を捉えているのか?(伊藤美智予)
  - 12) No.083-16-13  
高齢者の所得 長生きの栄養指標(血清アルブミン値)と関連(太田亜里美)
  - 13) No.082-16-12  
子ども期の生活環境が高齢期の死亡率にも影響か  
～幼少期の社会経済状況低い場合に死亡リスク 3 割減～(谷友香子, 藤原武男)
  - 14) No.081-16-11  
高齢者 月一回以上の社会参加で高血圧約 6%少ない(矢澤亜季)
  - 15) No.080-16-10  
人間関係 豊かな地域 歯を失うリスク 7%少(相田潤, 小山史穂子)
  - 16) No.079-16-09  
地域で役割ある高齢者は長生き(死亡率 12%減)(近藤尚己)
  - 17) No.078-16-08  
入れ歯しない高齢者 閉じこもりリスク約 2 倍(相田潤, 小山史穂子)
  - 18) No.077-16-07  
世話する人、話を聴く人 抑うつ度が低い(坪井宏仁)
  - 19) No.076-16-06  
12 月生まれの高齢男性 死亡率 14%高い 理由は?(井上陽介)
  - 20) No.075-16-05  
震災 3 年後のうつ症状に影響する 3 つの出来事は?  
～東日本大震災前後の被災者のデータ分析より～(坪谷透)
- ・2016 年 9 月 23 日愛知県庁、2016 年 9 月 26 日東京大学で記者に向けたプレス発表会が行われ、4 つのプレスリリース(上記 No. 085-16-15 ～ No. 088-16-18) が紹介されました
- ・本郷キャンパス医・総合図書館 3F 310 号室にて、記者に向けたプレス発表会が行われ、4 つのプレスリリース(上記 No. 085-16-15 ～ No. 088-16-18) が紹介されました

## 2. 主な研究成果発表

### <論文等>

- 1) Hikichi H, Aida J, Kondo K, Tsuboya T, Matsuyama Y, Subramanian S, Kawachi I: Increased risk of dementia in the aftermath of the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, 2016
- 2) Yamamoto T, Aida J, Kondo K, Fuchida S, Tani Y, Saito M, Sasaki Y: Oral health and incident depressive symptoms: JAGES project longitudinal study in older Japanese. *Journal of the American Geriatrics Society. Journal of the American Geriatrics Society*, 2016
- 3) Kanamori S, Takamiya T, Inoue S, Kai Y, Kawachi I, Kondo K: Exercising alone versus with others and associations with subjective health status in older Japanese: The JAGES Cohort Study. *Scientific Reports*, 2016
- 4) Hikichi H, Kondo K, Kawachi I: Social interaction and cognitive decline: Results of 7-years community intervention. *Alzheimer's & Dementia: Translational Research & Clinical Interventions*, 2016
- 5) Inoue Y, Stickley A, Yazawa A, Shirai K, Amemiya A, Kondo N, Kondo K, Ojima T, Hanazato M, Suzuki N, Fujiwara T: Neighborhood Characteristics and Cardiovascular Risk among Older People in Japan: Findings from the JAGES Project. *PLoS ONE* 11 (10): e0164525, 2016. doi: 10.1371/journal.pone.0164525
- 6) Sato Y, Aida J, Kondo K, Tsuboya T, Watt RG, Yamamoto T, Koyama S, Matsuyama Y, Osaka K: Tooth Loss and Decline in Functional Capacity: A Prospective Cohort Study from the Japan Gerontological Evaluation Study. *J Am Geriatr Soc*. 2016 Sep 9. doi: 10.1111/jgs.14324.
- 7) Kondo K: Meeting Report Progress in Aging Epidemiology in Japan: The JAGES Project. *J Epidemiol* 2016;26(7):331-336, doi:10.2188/jea.JE20160093.
- 8) Saito M, Kondo N, Aida J, Kawachi I, Koyama S, Ojima T, Kondo K: Development of an Instrument for Community-Level Health Related Social Capital among Japanese Older People: The JAGES Study. *J Epidemiol*. (in press)
- 9) Yazawa A, Inoue Y, Fujiwara T, Stickley A, Shirai K, Amemiya A, Kondo N, Watanabe C, Kondo K: Association between social participation and hypertension among older people in Japan: The JAGES Study. *Hypertension Research* 2016 Jul 7. doi: 10.1038/hr.2016.78[Epub ahead of print]
- 10) Ashida T, Kondo N, Kondo K: Social participation and the onset of functional disability by socioeconomic status and activity type: The JAGES cohort study. *Prev Med*. 2016 May 25;89:121-128. doi: 10.1016/j.ypmed.2016.05.006. [Epub ahead of print]
- 11) Tsuboya T, Aida J, Hikichi H, Subramanian SV, Kondo K, Osaka K, Kawachi I: Predictors of depressive symptoms following the Great East Japan earthquake: A prospective study. *Soc Sci Med*. 2016 Jul;161:47-54. doi: 10.1016/j.socscimed.2016.05.026. Epub 2016 May 20.
- 12) 山北満哉, 金森悟, 近藤尚己, 近藤克則: 日本人高齢者における定期的なスポーツグループへの参加に関連する要因—JAGES 横断研究: PLoS One に掲載された英語論文の二次出版. *運動疫学研究* 18(2):122-136, 2016
- 13) 長嶺由衣子, 近藤克則: 市町村における子供医療費助成制度導入前後の受診動向—制度導入前後の A 市レセプト分析より—. *社会保険旬報* 2652: 16-22, 2016(査読無)
- 14) 近藤克則: 集中講座 研究入門(第 7 回)対象と方法. *総合リハビリテーション* 44 (7): 634-637, 2016(査読無)
- 15) 近藤克則: 集中講座 研究入門(第 6 回)「背景と目的」とレビュー. *総合リハビリテーション* 44 (6): 534-537, 2016(査読無)
- 16) 近藤克則: 集中講座 研究入門(第 5 回)論文の種類と原著論文の構成. *総合リハビリテーション* 44 (5): 432-435, 2016(査読無)
- 17) 近藤克則: 集中講座 研究入門(第 4 回)研究構想・デザイン・計画. *総合リハビリテーション* 44 (4): 337-339, 2016(査読無)
- 18) 近藤克則: 集中講座 研究入門(第 3 回)研究の種類を選択. *総合リハビリテーション* 44 (3): 249-251, 2016(査読無)
- 19) 近藤克則: 集中講座 研究入門(第 2 回)良い研究の条件. *総合リハビリテーション* 44 (2): 150-153, 2016(査読無)
- 20) 近藤克則: 集中講座 研究入門(第 1 回)研究に必要なものと研究プロセス. *総合リハビリテーション* 44 (1): 68-71, 2016(査読無)
- 21) 芦田登代, 近藤尚己, 近藤克則: 介護予防の優先順位づけのためのデータ可視化ツールの開発, 厚生学の指標, 63(7):7-13, 2016(査読有)

22)伊藤美智予, 近藤克則, 中村裕子:要介護認定データから作成したケアの質評価指標の妥当性の検証ブラインドスタ  
ディによる特別養護老人ホームへの訪問調査を通して, 社会福祉学 57(1):58-70, 2016(査読有)

23)山谷麻由美, 近藤克則, 近藤尚己, 荒木典子, 藤原晴美:長崎県松浦市における地域診断支援ツールを 活用した高  
齢者サロンの展開 -JAGES プロジェクト-, 日本公衆衛生雑誌, 63(9):578-585, 2016(査読有)

### <学会発表>

#### 第 21 回静岡健康・長寿学術フォーラム

「健康・長寿社会を支えるモノづくり・人づくり 生命科学から見たモノづくりの可能性」(2016.11.25~26 静岡県コンベンシ  
ョンアーツセンター「グランシップ」)

1) Takashi Kamada, Souta Okuno, Yuko Araki, Eisaku Okada, Toshiyuki Ojima, Katsunori Kondo: Regional comparison of risk  
factors related to the onset of certification of long-term care need in community-dwelling elderly people in Japan: Follow-  
up study of participants in the JAGES project. 「ポスター賞受賞」

9th European Public Health Conference, Austria Center Vienna, Vienna, Austria, 10.11.2016 (Poster presentation 3.R.10, Online  
Abstract; EurJPublic Health 2016; vol. 26 Suppl1)

2) Natsuyo Yanagi, Takeo Fujiwara, Akira Hata, Katsunori Kondo: Association between adverse childhood experiences and  
vegetable consumption in older age in Japan.

19.wissenschaftliche Tagung der Österreichischen Gesellschaft für Public Health, Austria Center Vienna, Vienna, Austria,  
10.11.2016. (Poster presentation, Abstract-Band p.67) (Abstract: in English, Poster presentation: in German)

3) Natsuyo Yanagi, Takeo Fujiwara, Akira Hata, Katsunori Kondo: Association between childhood experience of neglect and  
fruit and vegetable consumption in old age in Japanese. (Beziehung zwischen Vernachlässigung in der Kindheit und Obst-  
und Gemüsekonsum im hohen Alter in Japan)

#### 第 31 回日本国際保健医療学会「民間から発信する国際保健医療」(2016.12.3 久留米シティプラザ)

##### 【口演】

4) Yuri Sasaki, Jun Aida, Yasuhiro Miyaguni, Taishi Tsuji, Yuiko Nagamine, Yukako Tani, Tami Saito, Kazuhiro Kakimoto,  
Katsunori Kondo: Can types of residence after the Great East Japan Earthquake predict the incidence of depressive  
symptoms? The Iwanuma project, The JAGES prospective cohort study (O-02-02)

#### 第 75 回日本公衆衛生学会総会「次世代の健康社会実現のための公衆衛生人材教育」(2016.10.26~28 グランフロント大阪)

##### 【優秀口演選考会】

5) 飯塚玄明, 佐々木由理, 辻大士, 近藤克則 高齢者における社会参加は検診受診を促進するか—JAGES 2010-13 縦  
断データ分析—.(2016.10.26 p207)

##### 【口演】

#### 第 6 分科会 高齢者の QOL と介護予防(2016.10.27 第 9 会場 カンファレンスルーム タワーC 8F C05)

6) 佐々木由理, 宮國康弘, 辻大士, 亀田義人, 小山史穂子, 松山祐輔, 佐藤遊洋, 相田潤, 近藤克則: 被災地の高齢者  
のうつ発生と近所づきあいの程度の関連—JAGES 2010-13 縦断データ分析(O-0601-1.p269)

7) 芦田登代, 近藤尚己, 近藤克則: 参加している地域組織の多様性と健康との関連: JAGES プロジェクト(O-0601-  
4.p269)

8) 竹田徳則, 平井寛, 近藤克則, 加藤清人, 鄭丞媛: 通いの場は何名程度のボランティアで運営されているか? —  
JAGES 参加 8 市町の分析(O-0601-6.p270)

9) 尾島俊之, 岡田栄作, 中村美詠子, 堀井聡子, 横山由香里, 相田潤, 近藤克則: 認知症を含む高齢者にやさしい地域  
指標としての高齢者の交通事故死亡(O-0603-1.p271)

10) 平井寛, 尾島俊之, 近藤尚己, 白井こころ, 近藤克則: 高齢者における買い物環境と食物摂取との関連の検討(O-  
0603-3.p272)

11) 辻大士, 高木大資, 大鶴朋子, 大野孝司, 近藤尚己, 近藤克則: 行政が保有する介護・健診データ連携による要介護  
リスク指標作成の試み(O-0604-1.p273)

12) 花里真道, 鈴木規道, 古賀千絵, 林尊弘, 辻大士, 近藤克則: 高齢者の転倒と地域環境の関連: JAGES2010 データか  
ら(O-0605-5.p275)

#### 第 7 分科会 高齢者の医療と福祉(2016.10.26 第 10 会場 カンファレンスルーム タワーB 10F B01)

- 13) 雨宮愛理, 藤原武男: 高齢者虐待と地域レベルのソーシャルキャピタルの関連: JAGES プロジェクト(O-0703-2)  
第 8 分科会 地域社会と健康(2016.10.26 第 13 会場 カンファレンスルーム タワーB 10F B08)
- 14) 菖蒲川由郷, 太田亜里美, 鈴木翼, 坪川トモ子, 渡邊路子, 近藤克則, 齋藤玲子, 近藤尚己: 高齢者の近所づきあいと  
“やせ”の関連は農村と都市で異なるか? JAGES 新潟研究より(O-0803-1.p281)
- 15) 柳奈津代, 藤原武男, 羽田明, 近藤克則: 高齢期の睡眠の質と子ども期から高齢期への社会経済的地位変化の関連  
JAGES 2010(O-0803-2.p281)
- 16) 渡邊路子, 菖蒲川由郷, 齋藤玲子, 鈴木翼, 田代敦志, 太田亜里美, 坪川トモ子, 近藤克則, 近藤尚己, 齋藤雅茂: 高  
齢者の睡眠の質と社会的決定要因の検討 JAGES2010 調査結果の解析(O-0803-3.p281)  
横田千尋, 佐々木由理, 辻大士, 亀田義人, 宮國康弘, 柳奈津代, 古賀千絵, 近藤克則: 高齢者における市町村毎の  
歩行習慣者割合と近隣環境認知の関連性: JAGES 地域相関研究(O-0803-4.p281)
- 第 15 分科会 公衆衛生従事者育成(2016.10.27 第 7 会場カンファレンスルーム タワーC 8F C03)
- 17) 長谷田真帆, 近藤尚己, 高木大資, 近藤克則: データ活用と部署間連携に関する自治体職員支援の効果検証: JAGES  
自治体担当者調査より(O-1501-1.p313)
- 第 17 分科会 公衆栄養(2016.10.27 第 11 会場カンファレンスルーム タワーB 10F B02)
- 18) 中村美詠子: 勤労者におけるフード・インセキュリティと栄養素摂取量(O-1701-5.p320)

**【示説】**

- 第 2 分科会 ヘルスプロモーション(2016.10.27 イベントラボ B1F)
- 19) 井階友貴, 近藤尚己, 近藤克則: 福井県高浜町における地域医療に関する住民有志団体活動の認識と健康行動との  
関連(P-0206-1.p395)
- 第 6 分科会 高齢者の QOL と介護予防(2016.10.28 イベントラボ B1F)
- 20) 渡邊良太, 竹田徳則, 林尊弘, 金森悟, 辻大士, 近藤克則: 地域在住高齢者のフレイル発生と歩行時間との関連:  
JAGES パネルデータを用いて(P-0605-2.p489)
- 21) 林尊弘, 近藤克則, 松本大輔, 山田実: スポーツグループへの参加と転倒発生とに関わる要因: JAGES 縦断データ  
分析(P-0606-1.p491)
- 22) 加藤清人, 竹田徳則, 近藤克則, 平井寛, 鄭丞媛: 通いの場の参加者における要介護リスク者割合の分析—JAGES  
プロジェクト—(P-0607-7.p495)
- 23) 近藤克則, 白井こころ, 佐藤峻, 奥園桜子: 地域診断指標としての高齢者における幸福感指標の検討—JAGES  
2010-13 縦断研究(P-0608-2.p496)
- 24) 白井こころ, 磯博康, 尾島俊之, 相田潤, 松山祐輔, 藤原武男, 雨宮愛理, 近藤尚己, 村山洋史, 齋藤民, 辻大士, 奥  
園桜子, 佐藤峻, 近藤克則: 地域在住高齢者の“幸福感”と死亡・認知症発症との関連についての検討: JAGES  
Project. (P-0608-3.p496)
- 第 7 分科会 高齢者の医療と福祉(2016.10.27 イベントラボ B1F)
- 25) 鄭丞媛: A 県徘徊高齢者の特徴: 認知症高齢者の徘徊の実態(第 1 報)(P-0705-4.p514)
- 26) 井上祐介: A 県徘徊高齢者の特徴: 発見された者の特徴(第 2 報)(P-0705-5.p514)
- 27) 齋藤民: A 県徘徊高齢者の特徴: 死亡例に関する記述的分析(第 3 報)(P-0705-6.p514)
- 第 8 分科会 地域社会と健康(2016.10.28 イベントラボ B1F)
- 28) 亀田義人, 宮國康弘, 辻大士, 佐々木由理, 近藤克則: 高齢期の運動における行動変容ステージの社  
29) 会的決定要因 JAGES project(P-0801-5.p524)
- 30) 宮國康弘, 田淵貴大, 相田潤, 齋藤雅茂, 尾島俊之, 白井こころ, 近藤克則: 地域レベルの社会的サポートと認知症  
発症との関連: JAGES 縦断研究(P-0801-6.p524)「ポスター賞受賞」
- 第 16 分科会 保健所・衛生行政・地域保健(2016.10.27 イベントラボ B1F)
- 31) 村田千代栄: 認知症高齢者の徘徊対策の現状と課題: 2015 年度全国自治体実態調査の結果から(P-1601-9.p612)

**【奨励賞受賞講演】**

- 第 2 会場(2016.10.27 ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター B2F ホール C)
- 32) 健康長寿と地域の社会関係資本・ポジティブ心理資源との関連性の検討  
座長: 仲宗根 正 演者: 白井 こころ

33) タバコ対策は優先順位第一位！みんなでタバコ対策を進めよう！

座長: 中村 正和 演者: 田淵 貴大

34) 健康影響予測評価(Health Impact Assessment)

座長: 石竹 達也 演者: 藤野 善久

The 48th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference (2016.9)

35) Airi Amemiya, Takeo Fujiwara. The association between social capital and diabetes among older people: the Results From the JAGES 2010 Project. (Oral)

36) Airi Amemiya, Takeo Fujiwara. Adverse Childhood Experiences and Functional Limitations Among Japanese Older People: Results From the JAGES 2013 Project. (Poster) 「Poster Award 受賞」

2016 Epidemiology Congress of the Americas (2016.6)

37) Airi Amemiya, Takeo Fujiwara. Association of Adverse Childhood Experiences with Functional Limitations among Japanese Older People. (Poster)

第 58 回日本老年医学会学術集会「地域で創る健康長寿と老年医学」(2016.6.8~10 石川県金沢市)

38) 林尊弘, 近藤克則, 山田実, 松本大輔: 高齢者のスポーツの趣味と転倒発生との関連: JAGES コホートデータ

第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会「軌轍と融和」(2016.6.9~11 国立京都国際会館)

39) 近藤克則: 要介護リスク得点の開発: JAGES(日本老年学的評価研究)プロジェクト

第 52 回日本循環器病予防学会学術集会「生活習慣病」と「食」(2016.6.17~18 さいたま市)

40) 尾島俊之, 竹田徳則, 宮國康弘, 相田潤, 横山由香里, 村田千代栄, 鄭丞媛, 中村廣隆, 岡田栄作, 中村美詠子, 齊藤雅茂, 近藤尚己, 近藤克則: 認知症要介護認定に関連する環境要因: JAGES プロジェクト日本循環器病予防学会誌 2016;51(2):132.

第 19 回日本運動疫学会学術総会「Community, Physical Activity, and Health」(2016.6.18~19 早稲田大学 東伏見キャンパス)

41) 金森悟, 高宮朋子, 井上茂, 辻大士, 近藤克則: 高齢者のグループ運動と2年後の抑うつ傾向の発症

42) 辻大士, 宮國康弘, 金森悟, 近藤克則: 高齢者における地域のスポーツグループ参加者割合と個人の抑うつ傾向の関連~JAGES プロジェクトにおける横断的マルチレベル分析~「優秀演題賞」受賞

Epidemiology congress of the Americas 2016

43) Natsuyo Yanagi, Takeo Fujiwara, Akira Hata, Katsunori Kondo: Association between childhood socioeconomic status and vegetable/fruit consumption by age group in elderly Japanese: JAGES Project :Epidemiology congress of the Americas 2016. (Poster presentation, 0265-S/P, Hyatt Regency Miami, Miami, USA, 2016.06.21, Abstract Book(Web 抄録集))

第 57 回日本社会医学会総会「私たちが目指す社会医学を憲法の理念から考える」(2016.8.6~7 草津市立まちづくりセンター)

44) 大田康博, 近藤克則, 齊藤雅茂, 宮國康弘, 山崎喜比古: 高齢者の健康度自己評価と「インターネットのコミュニケーション利用」-JAGES- 2016.8.7

45) 岡田栄作, 近藤克則, 宮國康弘, 尾島俊之: 日常生活圏域ニーズ調査結果を用いた2次予防事業対象者の地域診断指標の開発 2016.8.6

46) 近藤克則, 細川陸也, 伊藤美智予, 宮國康弘, 水谷聖子, 肥田佳美, 後藤文枝, 阿部吉晋, 柘植由美, 早川祐子, 半田裕子, 青木祥太, 川角智子, 尾島俊之: 「健康交流の家」開設による健康への効果検証(第1報)- 事後的調査における交流機会と主観的健康感の変化 - 2016.8.6

47) 細川陸也, 近藤克則, 伊藤美智予, 宮國康弘, 水谷聖子, 肥田佳美, 後藤文枝, 阿部吉晋, 柘植由美, 早川祐子, 半田裕子, 青木祥太, 川角智子, 尾島俊之: 「健康交流の家」開設による健康への効果検証(第2報)- 縦断調査における社会参加と活動能力の変化- 2016.8.6 「奨励賞」受賞

第 9 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会「拡げよう新時代の連携の輪 ~IPEとIPW、病院と地域~」(2016.8.21 昭和大学 4号館)

48) 上山崎悦代, 杉本浩章, 篠田道子, 原沢優子, 松田実樹, 近藤克則: 「終末期ケアにおける多職種協働を促進する研修プログラムの検証」 2016. P67

The 48th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference 「Create a Healthy Future With Competent Professionals」(2016.9.16～19 Teikyo University in Tokyo)

- 49) Emiko Ando, Takanobu Nomura, Jun Aida, Hiroyuki Hikichi, Kana Inoue, Yukio Hosaka, Tomoko Tabata, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi: Association of dog ownership with cognitive decline among community-dwelling older residents in Japan: longitudinal analysis. The 48th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference. Abstract No.8-3-O. in Tokyo, Japan. 2016 Sep.「Young Oral Presentation Award」受賞

### 3. シンポジウム・講演・メディア掲載・放送等

#### <シンポジウム>

- 1) 厚生労働科学研究・研究成果等普及啓発事業による成果発表会(一般向け), 東海市芸術劇場, 2016.12.13  
テーマ: 社会参加促進による認知症予防  
講演: 近藤克則:「社会参加で認知症予防」  
尾島俊之:「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」  
村田千代栄:「ポジティブ感情と認知症」  
竹田徳則:「武豊プロジェクト—通いの場(サロンなど)参加と認知症予防」
- 2) 第2回貧困と子どもの健康シンポジウム(一般向け), 東京大学医学部教育研究棟, 2016.12.4  
テーマ: 「小児科学は貧困問題にどう取り組むか」  
講師: 近藤克則, 五十嵐隆, 和田浩.
- 3) いのちと暮らしを脅かす安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉関係者の会主催 連続企画第二弾 健康格差社会にどう向き合うか 憲法が危ない! 健康も危ない!, 日本赤十字看護大学, 2016.11.26  
講師: 近藤克則「健康格差になぜ取り組むべきか」  
講師: 橋本英樹「健康問題に取り組む上でなぜ政治が大切か」
- 4) 第6回世界健康首都会議  
パネルディスカッション「予防カルチャー ～暮らせば健康になるまち～」(2016.11.11 長野県松本市中央公民館)  
講師 近藤克則
- 5) 第31回保団連 医療研究フォーラム  
「保険で良い医療」を実現する医療実践について考える-「開業医医療の復権」をめざして(2016.10.9～10 京都市・京都国際会館)  
近藤克則:シンポジウムのコーディネーター(2016.10.9)

#### <講演>

- 1) 近藤克則: 医療介護福祉政策研究フォーラム 平成 29 年新春座談会「医療・介護改革の行方～2018 年に向けて～」, イノホール(東京都千代田区), 2017. 1. 11
- 2) 佐々木由理: 社会環境と健康 -老後うつも、お茶して笑って回復??-. 高根台地区社会福祉協議会・おわらい亭運営委員会主催, 船橋市高根台公民館共催 ボランティア講座 2016「知～おはなしと笑い～落語 とりあえず 100 歳まで元気に」, 高根台公民館講堂, 2016.12.9
- 3) 近藤克則: 何が健康と寿命を左右するのか～始める、考える、動かす健康格差対策の7原則～. 神戸市地域保健事業関連研修, 三宮研修センター, 2016.12.9
- 4) 近藤克則: 地域づくりによる介護予防～地域包括支援センターの役割～. 横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会 地域ケアプラザ分科会 地域包括研修会 主任ケアマネージャー分科会研修会, 横浜市健康福祉総合センター, 2016.12.5
- 5) 近藤克則: 高齢になっても安心して暮らせるまちづくり～常滑市に必要なまちづくりのために、今私たちができることは～. 平成 28 年度常滑市介護予防・生活支援体制整備事業 公開講座, 常滑イオンモール, 2016.12.2
- 6) 近藤克則: ソーシャル・キャピタルと健康づくり-介護予防から自殺予防まで. 平成 28 年度自殺対策研修会, 福岡県精神保健福祉センター, 2016.11.29
- 7) 近藤克則: 健康格差と老人クラブ活動. 平成 28 年度「第 2 回友愛活動研修会」, 神奈川県公会堂, 2016.11.14

- 8) 近藤克則: 地域診断に基づく介護予防を目指した保健活動～ソーシャルキャピタルに着目した健康なまちづくり～. 平成 28 年度磯子区地区診断研修, 横浜市磯子区役所, 2016.11.1
- 9) 山本 龍生: 大規模追跡調査からみえてきた歯の健康と認知症との関係. NPO法人ハート・リング運動 ハート・リングフォーラム 認知症の新・常識 2016 in 愛知 『『口から考える、認知症』～あなたとご家族のための、介護・生活・予防の知恵～』, 名古屋商工会議所, 2016.6.5
- 10) Tsuji T, Kondo K, Tsunoda K, Yoon J, Okura T: Evaluation of physical function in older adults at individual and community levels. (Disciplinary Session). 2016 The 28th International Sport Science Congress IN COMMEMORATION OF THE 1988 SEOUL OLYMPIC GAMES, Seoul, Korea, 2016.8.25-27
- 11) 芦田登代: 高齢者の健康に関する実証分析: 選好やライフコース. 大阪大学医療経済・経営学寄付講座東京研究会, 東洋大学, 2016.8.27
- 12) 佐々木由理: 高齢者とうつ-健康格差社会への挑戦-. [招待有り], 八千代市ふれあい大学, 千葉県八千代市, 2016.9.9
- 13) 宮國康弘: 健康格差対策の現状と課題—ソーシャル・キャピタルに着目した地域づくり—. 木曾保健福祉事務所研修会, 長野県木曾町木曾合同庁舎, 2016.9.9
- 14) 芦田登代: 医療・健康分野の政策研究. 日本公共政策研究機構政策アカデミー, 長野県軽井沢市, 2016.9.10
- 15) 近藤克則: 健康寿命延伸と介護予防. 第1回開催 健康寿命延伸と介護予防を考える会 ～70代、80代を元気に乗り越える為に～, 愛知県名古屋市, 2016.9.15
- 16) 辻大士: 社会参加で健康長寿—生涯大学校から始める地域活動と健幸華齢. 千葉県生涯大学校外房学園・学園企画講座(2), 千葉県茂原市, 2016.9.28
- 17) 近藤克則: 特別講演 ソーシャル・キャピタルと健康 - 関連の実証から応用へ. 第 68 回北海道公衆衛生学会 「ソーシャル・キャピタルの醸成と地域の人々の健康」, 北海道札幌市, 2016.10.1

#### <メディア掲載・放送等>

- 1) NHK 東海 NEWS WEB で紹介されました(2016.12.13)  
「社会活動参加で認知症予防を」
- 2) BLOGOS で紹介されました(2016.12.4)  
医師「子どもの貧困は 50 年後の時限爆弾」(近藤克則)
- 3) THE HUFFINGTON POST でインタビューに答えました(2016.11.24)  
「殺せ」ブログの長谷川豊アナと「健康ゴールド免許」の小泉進次郎氏は同類なのか? (近藤克則)
- 4) THE HUFFINGTON POST で紹介されました(2016.11.21)  
東日本大震災の被災地調査「住宅被害→認知症進行」影響が明らかに(引地博之)
- 5) TBS News i で紹介されました(2016.11.21)  
震災で住宅被害大きかった高齢者「認知症発症2倍」(引地博之)
- 6) NHK NEWS WEB で紹介されました(2016.11.18)  
「住宅被害大きいほど認知症悪化」(引地博之)
- 7) 毎日新聞で紹介されました(2016.11.15)  
「協定 松戸市・千葉大、高齢者の健康・生活を調査 今月から」
- 8) 東京新聞 TOKYO Web で紹介されました(2016.11.5)  
「介護予防への効果は 松戸市と千葉大が共同研究 ささまざまな住民活動」
- 9) 千葉日報で紹介されました(2016.11.3)  
「健康寿命の延長図る 千葉大予防医学C 松戸市と研究協定」
- 10) 近藤克則: 【記事】体を売ることを考えてしまいます(貧困がうつを生む). AERA 29(27):26-27, 2016
- 11) CBC ラジオ「北野誠のズバリサタデー」に生電話出演しました(2016.10.29 10:15～)  
コーナー「ズバリ聞きたい」(近藤克則)
- 12) CBC ラジオ「きく! ラジオ」に出演しました(2016.10.17～21 20:00～22:00)  
5 回シリーズ、テーマ「健康長寿のために」(近藤克則)



- 13) TBS ラジオ「荻上チキ・Session-22」にコメンテーターとして生出演しました(2016.10.17 22:45~23:40)  
テーマ「健康格差」(近藤克則)
- 14) YOMIURI ONLINE の医療サイト「ヨミドクター」で紹介されました(2016.10.14)  
「健康の自己責任論は不毛 公衆衛生の立場から」(近藤尚己)
- 15) BS11「INsideOUT」で紹介されました(2016.10.11 20:59~21:59)  
「『健康格差』って何?こんなに違う医療機会」(市田行信・近藤尚己)
- 16) プレスリリース 078-16-08「入れ歯しない高齢者 閉じこもりリスク約2倍」(相田潤, 小山史穂子)が以下で紹介されました  
・共同通信(NEWS47)、東京新聞 TOKYO Web、高知新聞Web、静岡新聞Web等(2016.9.17)  
「歯が少ないと閉じこもり倍に 高齢者、東北大調査」  
・YOMIURI ONLINE ヨミドクター, ヤフーニュース:「歯が少ない高齢者、引きこもり危険性が2倍に・・・東北大調査」  
・朝日新聞デジタル:「歯が少ない高齢者、引きこもりリスク増 東北大など調査」  
・NAVER:【なんじゃそりゃ…】歯の数が少ない高齢者は閉じこもりになる危険性が高い!? (2016.6.29)
- 17) NHK スペシャルで「健康格差」が取り上げられ出演しました(2016.9.19 初回放送 19:30~20:43)「私たちのこれから『#健康格差 あなたに忍び寄る危機』」(近藤克則)
- 18) 中日新聞 愛知版で紹介されました(2016.8.29)  
「高齢者の生活習慣見直しの目安に 『認知症発生リスク数値化』」(竹田徳則)
- 19) シルバー新報第 1222 号 4 頁で紹介されました(2016.8.19)  
「介護度改善率 ケアの質評価に有効—訪問調査評価と相関あり」(伊藤美智予)
- 20) YOMIURI ONLINE で紹介されました(2016.8.15)  
「終戦前後、『子供の頃貧乏だった』男性は長寿」(谷友香子)
- 21) 読売新聞の夕刊 14 面で紹介されました(2016.8.15)  
「子ども期の生活環境が高齢期の死亡率にも影響か~幼少期の社会経済状況低い場合に死亡リスク3割減~」(谷友香子)
- 22) 通販生活 WEB 版、今週の読み物頁でインタビュー記事が紹介されました(2016.7.5)  
「個人では変えられない『上流の社会環境』を変えないと、健康格差はなくせません」(近藤克則)
- 23) NHK NEWS WEB(東海 NEWS WEB)で紹介されました(2016.6.25)  
「歯が“閉じこもり”に関係か」(研究グループの代表で、国立長寿医療研究センターの近藤克則)
- 24) NHK、CBC テレビで、テレビ取材を受けました(2016.6.24)  
プレスリリース 076-16-06「12月生まれの男性 死亡率 14%高い理由は?」(井上陽介)  
プレスリリース 078-16-08「入れ歯しない高齢者 閉じこもりリスク約2倍」(相田潤, 小山史穂子)
- 25) 中日新聞で紹介されました(2016.6.8)  
自覚し予防に活用を 認知症リスク、採点リスト開発 「認知症リスク」のチェックリスト(竹田徳則)

#### 4. 自治体共同研究会等

- ・名古屋市共同研究会 2016年9月9日, 11月18日, 12月2日
- ・東海市共同研究会 2016年10月14日, 2017年1月13日
- ・武豊町共同研究会 2016年8月19日, 2016年11月18日
- ・豊橋市共同研究会 2016年10月24日
- ・常滑市共同研究会 2016年6月29日, 2016年9月16日
- ・リハDB研究会 2016年8月5日, 9月16日, 10月14日, 12月16日, 2017年1月13日

## 5. 研究費獲得のお知らせ(ニューズレター42号発行以降に採択された研究費のみ記載)

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 長寿科学研究開発事業

研究代表者: 近藤克則 研究費増額申請採択 6,600,000 円

課題名: 地域づくりによる介護予防を推進するための研究

第26回公益財団法人 医療科学研究所(H28 - H29 年度)

研究代表者: 松山祐輔(研究機関: 東北大学)

課題名: 良好な口腔状態は健康寿命を延ばすか: Illness-death model を応用した縦断研究

公益財団法人 太陽生命厚生財団 (H28 - H29 年度)

平成28年度社会福祉助成事業及び研究・調査事業

研究代表者: 齋藤順子(研究機関: 東京大学)

課題名: 要介護状態の変化パターンとその予測要因の解明に関する縦断研究

第26回公益財団法人 医療科学研究所 (H28 - H29 年度)

研究代表者: 齋藤順子(研究機関: 東京大学)

課題名: 要介護状態の変化パターンを予測する要因の解明: 高齢者縦断研究

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤B)(H28-30年度)

研究代表者: 斎藤民

課題名: 認知症高齢者の幸福感と社会参加: 社会実装に向けたエビデンスの構築

平成28年度農林水産政策科学研究委託事業 (H28~H30年度)

研究テーマ: 「医療分野との連携による農業・農村の活性化とその波及効果及び体系的支援のあり方に関する研究」

研究代表者: 菖蒲川由郷

課題名: 「農村活性化事業が農村高齢者の健康維持と地域の健康と豊かなソーシャルキャピタルの醸成につながることを実証する研究」

平成28年度 長寿科学政策研究推進事業(国際共同研究推進事業)

研究代表者: 白井こころ

課題名: 「健康と自立生活の社会的決定要因に関する国際比較研究: Japan-US-UK-Finland の高齢者における検討」

平成28年度老人保健健康増進等事業(老人保健事業推進費等補助金)

一般介護予防事業評価事業の評価指標の確立と地域診断への応用に関する研究調査事業  
(事業番号41、テーマ番号40)

事業の概要: 市町村担当者が介護予防にかかる事業評価とその改善に効果的、効率的に取り組むため、エビデンスとデータ収集と地域診断指標群からなる簡便な地域診断書の開発ならびに普及のための地域診断書の活用マニュアルの作成を目的とする

- ・地域づくりによる介護予防事業に係る評価に資するエビデンスの収集
- ・協力保険者におけるデータ収集
- ・それらをもとに試行的にプロセス・アウトカム・費用など多面的な評価指標からなる地域診断書開発と活用マニュアルの作成
- ・保険者職員を対象にしたヒヤリング調査などを元に残された課題の整理を行う

平成28年度日本医療研究開発機構研究費 (H28~H31年度)

研究代表者: 近藤克則

事業名: パーソナルヘルスレコード(PHR)利活用研究事業

公募題名: (2) 疾病・介護予防 PHR モデルに関する研究

課題名: 介護予防政策へのパーソナル・ヘルス・レコード(PHR)の利活用モデルの開発

## 6. 研究会のお知らせ

### <自治体関連>

#### 豊橋市共同研究会

【日時】2017年1月23日

【場所】豊橋市総合福祉センターあいつピア

#### 名古屋市共同研究会

【日時】2017年1月31日

【場所】日本福祉大学名古屋キャンパス

#### 常滑市共同研究会

【日時】2017年2月17日

【場所】常滑市役所

#### 武豊町共同研究会

【日時】2017年3月24日

【場所】武豊町保健センター

### <JAGES 関連>

#### 2017年1月のJAGES研究会

【日時】2017年1月22日(日) 10時30分～17時00分(予定)

【場所】東京大学 本郷キャンパス

#### 2017年2月のJAGES研究会

【日時】2017年2月12日(日) 10時30分～17時00分(予定)

【場所】東京大学 本郷キャンパス

#### 2017年3月のJAGES研究会

【日時】2017年3月12日(日) 10時30分～17時00分(予定)

【場所】日本福祉大学 名古屋キャンパス

---

ニューズレター第43号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<[p-tanaka\\*n-fukushi.ac.jp](mailto:p-tanaka*n-fukushi.ac.jp)(田中)>

までお知らせください(ご連絡の際は\*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元:健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因－社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。